

米国カリフォルニア州 柑橘類の輸出シーズンは低調

[FreshPlaza](#) 2025年2月18日

カリフォルニア州からのネーブルオレンジ、マンダリン、グレープフルーツの供給は、昨年この時期とほぼ同じようである。ジョンストン農場のデレク・ヴォーン氏は、「ただ、昨年と比べてサイズがかなり小さくなっている。昨シーズンの約半分のサイズだ。在庫は豊富にあるが、サイズはほとんどが入数72(中玉)か、それより小さい」と言う。(以下「」は同氏の話)

出荷シーズンは予定通りに始まったが、2024年7月にこの地域で発生した熱波が果実の成長に影響を与えたと考えられている。

現在のところジョンストン農場では、ネーブルオレンジについてはワシントンネーブルをもう1週間出荷する予定である。グレープフルーツではカリフォルニアレッドを、マンダリンではマーコットとゴールドナゲットを出荷している。

国内需要が拡大

需要については、今年は国内の需要が賑わい、堅調に推移している。「輸出は全体的に低調である。モロッコやエジプトなどとの競争があり、輸送の遅延も見られるため、国内でより創造的に取り組み、袋詰め販売やラベルの使い分け、様々な市場の利用などの対応を行っている。」

果実の小玉化は価格に影響を与えており、昨年この時期よりも安くなっている。「しかし、今年は果汁価格が歴史的に高く、誰にでも良い底値が示されているので、生鮮市場が安ければ果汁用に出荷することもできる。」

今後、ジョンストン農場はオータムゴールドとその他の晩生ネーブルの出荷シーズンに入るため、シーズンはあと約6週間残っている。

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

米国 リンゴの貯蔵量が前年比5%減少

[FreshFruitPortal](#) 2025年2月21日

米国リンゴ協会のデータ(USApple Tracker)によると、今年2月の米国のリンゴ貯蔵量は1億3千万ブッシェルで、そのうち9,270万ブッシェルが生鮮市場向けである。これは、昨年の同時期に報告された在庫より5%少なく、2月の貯蔵量の5年平均よりも12%多い。(米国リンゴ協会の1リンゴブッシェル=42ポンド(約19.05kg))

この調査では、米国の加工用リンゴの貯蔵量が前年同期比5%減の合計3,750万ブッシェルであったことも示されている。この在庫量は、昨年2月に報告されたものより5%少なく、2月の5年平均より8%多い。

品種別では、ガラの生鮮及び加工用の貯蔵量が合計1,939万6,774ブッシェルで最も多く、次いでレッドデリシャスが1,706万8,616ブッシェル、グラニースミスが1,533万1,791ブッシェル貯蔵されていた。

州別では、ワシントン州が依然としてトップで1億739万5,238ブッシェルのリンゴを貯蔵しており、昨年よりわずかに少ないが、5年間の平均より多くなっている。

これにニューヨーク州が続き、昨年よりも多い1,028万2,460ブッシェルのリンゴを貯蔵している。ミシガン州が第3位で、614万3千ブッシェルのリンゴを貯蔵しており、昨年及び5年間の平均よりも少なくなっている。